



軽防協ニュース速報

2019年第3四半期(7月-9月)の伝染病発生状況

2019年12月配信

(International Collating Centre からの情報)

この記事は、2019年第3四半期(7月-9月)の各国の伝染病発生状況の要約したものである。ICC 暫定(リアルタイム)のレポートは <http://jdata.co.za/iccvviewer/> のページにある。このレポートに示されているデータには、各国の研究所での検査サンプルや、報告方法に多少のバイアスがあるかもしれないため注意して解釈していただきたい。そのため、これらのデータが必ずしも世界各地における馬の集団内での伝染病発生率を的確に反映しているわけではないことをご了承願いたい。例えば、ある伝染病について発生報告がないからといって、必ずしもその伝染病がその国の中で存在していないということではない。以下の各表は国によって報告された病気の発生件数をまとめたものである。1件の発生で複数症例を含むものがある。

繁殖疾患

発生国	EHV-1	CEM
デンマーク	1	1
フランス		2
ドイツ		1

馬ヘルペスウイルス1型(EHV-1) 流産

ベルギー

1件発生し、1か月間で4例が流産した。

馬伝染性子宮炎(CEM)

ベルギー

種雄馬1例で不顕性感染が報告された。

フランス

繁殖雌馬1例が子宮炎を発症し流産した。異なる症例として、種雄馬1例が確認され去勢された。

ドイツ

アイスランド種の雌馬で発生し、陽性診断は、生殖器スワブの PCR によってなされた。

呼吸器疾患

国	EHV-1	EHV-4	EI	トコジカシクイ	腺疫
ベルギー	2	3	1	1	-
デンマーク	1	-	1	-	-
フランス	4	11	6	-	27
ドイツ	1	3	1	-	3
アイルランド	2	1	-	-	-
日本	-	1	-	-	-
オランダ	1	3	-	-	15
スーダン	-	-	1	-	-
スイス	-	1	-	-	2
イギリス	1	6	59	-	風土病
アメリカ	-	-	風土病	風土病	風土病

EHV-1/-4 による呼吸器感染症

国際的に EHV は多くの国で風土病である。そのため発生情報は過少に報告されることが考えられる。各国からの発生状況の報告は研究所の検査結果に基づいている。そのため、報告数はその国での正確な発生頻度とはほぼ相関していないものと思われる。

EHV-1 呼吸器感染症

ベルギー

1 件発生し、臨床症状は、発咳、鼻汁、四肢浮腫、リンパ節腫脹と発熱であった。

デンマーク

1 か月の間に、1 施設で 7 例が発症。PCR 法によって陽性診断された。

フランス

複数の単独症例が報告された。臨床症状は、呼吸困難と発熱であり、鼻咽頭スワブの PCR 法によって陽性診断された。そのうちの 1 症例では EHV-4 との混合感染であった。

ドイツ

1 例を報告。

アイルランド

2 件発生し、ともに子馬の単独症例であった。

オランダ

1 例の発症が報告。臨床症状は、発熱、鼻汁、四肢浮腫。陽性診断は鼻腔洗浄液の PCR 法によって実施。

イギリス

1 例が発生し、鼻咽頭スワブでの PCR 法によって、確定診断した。

EHV-4 による呼吸器感染症

ベルギー

全ての報告は、単独発生の確定症例であった。

フランス

単独発生の確定症例の報告が 10 件あった。1 件の報告では、確定症例 1 例とともに別の 1 例が類似の臨床症状を示した。臨床症状は、発熱、リンパ節腫脹、鼻汁、発咳。すべてが、鼻咽頭スワブで PCR 法によって陽性診断された。

ドイツ

単独発生が 2 件、子馬 3 例での発生 1 件が報告された。

アイルランド

1 例が、非サラブレッド種で報告された。

日本

3 頭のワクチン未接種サラブレッドで発症した。

オランダ

全ての発生は単発で、2 件は子馬であった。

スイス

1 歳馬での発生が 1 例あった。

イギリス

すべて単独発生の確定症例の報告であった。臨床症状は、発咳、鼻汁、リンパ節腫脹と発熱であった。

馬インフルエンザ

ベルギー

発生が 1 件報告。

デンマーク

発生が 1 件報告。

フランス

1 例のみの発生が 2 件、3 例の発生が 1 件、4 例の発生が 2 件、6 例の発生が 1 件であった。

ドイツ

2 例の発生が 1 件。

スーダン

スーダンでは過去に発生報告がなく、そのことが南ダルフールから東ダルフール州に感染が迅速に拡大した理由の説明になるかもしれない。呼吸器症状を示し、約 700 頭が発症し、107 頭が死亡した。

イギリス

全土で、発生が続いている。

アメリカ

少なくとも 6 州で確認されており、そのうちいくつかの州では複数の発生が認められる。

ロドコッカス・エクイ

ベルギー

1 件の発生が報告。

腺疫

国際的に腺疫は多くの国で風土病である。

消化器疾患

国	ロタウイルス	ネオリケッチア症
フランス	8	-
アメリカ	2 2	2 5

ロタウイルス

フランス

6 件の報告が単独例の発症であり、2 件の報告が 2 例での発生であった。臨床症状は食欲不振と下痢、発熱である。

アメリカ

発生の多くはケンタッキー州で7月に報告された。

ネオリケッチア症

全ての報告が単独の症例であった。3州から発生報告があったが、ケンタッキー州で23頭と大部分を占めており、7月と8月の発生であった。臨床症状は、食欲不振、疝痛、下痢、発熱であった。

神経疾患

国	EEE	EHV-1 神経型	WNV
オーストリア	-	-	2
ブラジル	-	-	3
カナダ	4	-	1
フランス	-	3	4
ドイツ	-	-	8
ギリシャ	-	-	2
イタリア	-	-	1
オランダ	-	1	-
スイス	-	1	-
アメリカ	6 1	3	2 9

東部馬脳炎 (Eastern Equine Encephalitis : EEE)

カナダ

全ての報告で、ワクチン未接種での発生であり、全頭安楽死された。

アメリカ

レポートは東部の州からであり、多くの報告が、フロリダ州とミシガン州であった。

EHV-1 による神経疾患

フランス

2 件の報告で単独例であった。1 件の流行では 5 頭が症状を示した。臨床症状は、運動失調と沈鬱であった。

オランダ

1 例の報告。臨床症状は鼻汁と運動失調であった。鼻汁の PCR 検査によって陽性診断された。

スイス

1 例の報告があり、安楽死処置された。

アメリカ

全ての報告が、単独例のものであった。2 例は安楽死後の病理解剖で診断された。

ウエストナイルウイルス感染症 (WNV)

オーストリア

1 例の報告。

ブラジル

3件の報告はすべて1例ずつであり、すべてが死亡した。2例は、神経症状のウマの検査を対象としたサーベイランスにより、発見された。

カナダ

ワクチン未接種馬での報告が1件。

フランス

報告はいずれも1例ずつの発生であった。臨床症状は、運動失調、沈鬱、発熱、麻痺であった。

ドイツ

報告はいずれも1例ずつの発生であった。臨床症状は、運動失調であった。1例が安楽死された。

ギリシャ

サーベイランスにより1例が摘発された。

イタリア

1例のみの報告であった。

アメリカ

臨床症状は、運動失調、筋線維束性れん縮、発熱と横臥。およそ半数がカリフォルニアで発生している。

その他の疾患

国	AHS	EEV	EIA	EVA	VS	炭疽	鼻疽	エールリヒア症	ピロプラズマ
ベルギー	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カナダ	-	-	3	-	-	-	-	-	-
フランス	-	-	2	2	-	-	-	-	-
ドイツ	-	-	-	-	-	-	-	1	-
クウェート	-	-	-	-	-	-	1	-	-
ポーランド	-	-	-	1	-	-	-	-	-
南アフリカ	< 5	3	-	-	-	-	-	-	29
スイス	-	-	-	-	-	-	-	1	-
イギリス	-	-	-	1	-	-	-	-	-
アメリカ	-	-	15	-	> 10	6	-	-	-

アフリカ馬疫 (AHS)

南アフリカ

AHS 症例は、冬に入り大きく減少した。孤発例は東ケープ州、ムプマランガ州やクワズール・ナタール州で発生したが、合計でも5頭未満である。西ケープ州では感染地域でも AHS 管理地域も AHS は認められなかった。

馬脳症 (EEV)

南アフリカ

3例が報告された。

馬伝染性貧血 (EIA)

カナダ

全ての報告が単独例であった。臨床症状を示したのは1例のみで、2例は無症状であった。

フランス

2件の発生とも1例ずつで不顕性感染であった。

アメリカ

1件の発生で17例の陽性、2件の発生で2例の陽性、11件が単独例であった。

馬ウイルス性動脈炎 (EVA)

フランス

1件の発生で1例の繁殖雌馬が流産した。他の発生でも1例が流産し、他に2例が呼吸器症状を示した。

ポーランド

陽性例が3例発生し、臨床症状は沈うつ、発熱、結膜炎、眼瞼や四肢の浮腫を認めた。

イギリス

サラブレッド種ではない種雄馬で不顕性の1例が報告された。

水胞性口炎 (VS)

アメリカ

アメリカ本土の中部から南部にかけて流行が発生した。臨床症状は舌、口唇、耳や腹部に病変が認められた。

炭疽

アメリカ

すべての発生は、テキサス州の三角地帯の施設で報告され、その地域では古くから炭疽菌が土壌に存在している。

鼻疽

アメリカ

不顕性感染3例の発生が報告された。これらは輸出検疫時に摘発された。

エールリヒア症

ドイツ

EDTA 加血液の PCR 検査によって陽性診断された

スイス

PCR 検査によって陽性診断された。

ピロプラズマ病

南アフリカ

ピロプラズマは南アフリカの風土病である。